

駅前の方々に、そして 3.11 を忘れない東海イレブンアクションにご参加のみなさん、今晚は。村議会議員の大名美恵子でございます。

大震災と福島原発事故から今日で丸4年です。福島では未だに12万人もの方々が避難生活を強いられています。

先の見えない長引く避難による「震災関連死」者は1800人にもものぼり、大震災の直接死者1603人を大きく上回り深刻な事態です。

福島の方々がいま尚苦しみのなかにあるときに、本当に許せないのは、安倍政権が、事故がなかったかのように原発再稼働に突き進もうとしていることです。

ところが驚くことに事故を起こした福島原発から、高濃度の放射能汚染水が外洋に漏れ出していたことが明らかになりました。

何よりも重大なのは、汚染水漏れは、1年以上前にわかっていたにもかかわらず、東京電力はそれを隠し続け、原子力規制委員会も何の対策もとっていなかったことです。

事故の収束すらほど遠いもとでの原発再稼働など、まるで論外です。

みなさん、政府は昨年12月、突然、商工業者等の営業損害賠償の打ち切りを、2月末から始めるとの方針を示しましたが、県民の激しい抗議をうけて、2月末の打ち切りは見送りましたが、賠償打ち切りの方針の撤回はしていません。多くの商工業者のみなさんが避難を余儀なくされ、営業再開すらできていま

せん。実害と風評の両面で苦しめられている時に、賠償打ち切りとはあまりに非道、絶対に許せるものではありません。

原発再稼働のために福島を切り捨てる、収束に責任を負わず、賠償を打ち切る。こんな冷酷非道な安倍政権はただちにやめさせようではありませんか。

そしてみなさん、私たちのくらしと目と鼻の先にある東海第二原発も、持っている危険性、重大性、深刻度は同じです。しかも、稼働37年が過ぎた老朽原発。加えて国内一人口密集地に立地した問題だらけの原発です。

私たち東海村民は全てが約5キロ圏内に居住するという異常さです。

どんなに対策をとっても、自然災害の度合いを想定した範囲での対策でしかありません。想定外の対策などあり得ませんから、福島のように絶対ならないという保証はありません。

何より、日本はこの1年半、稼働原発ゼロで十分やってくることができました。これからも原発なしでも大丈夫です。これほどの危険性を抱えた原発は、東海第二も勿論、廃炉以外に進むべき道はありません。早期の廃炉実現に向け、力を合わせてまいりましょう。